

社会福祉法人 日本点字図書館

感謝録

2022 年 7 月

数多くのご支援に感謝いたします。



東京 2020 オリンピック聖火リレートーチに触れる
(ふれる博物館にて)

感 謝 の 言 葉

社会福祉法人 日本点字図書館

理 事 長 長岡 英司



今年も日本点字図書館の関係者一同の想いをこめて、感謝録をお届けいたします。この冊子には、多くの皆様からのご支援のおかげで当館が事業を続けられている現況を記しています。お寄せいただいた尊いご厚志に、心より感謝申し上げます。

私は、田中徹二前理事長のあとを継いで、本年4月1日付で当職に就任しました。それまで5年間の館長在任中は、皆様に一方ならぬお世話になりました。この紙面をお借りして、そのご厚情に改めて御礼申し上げますとともに、今後の一層のご指導とご鞭撻を、衷心よりお願い申し上げます。

この2年余り、当館も新型コロナウイルスの感染拡大に激しく翻弄されました。昨年度の前半は、国の緊急事態宣言に対応するために、前年度に引き続いてご来館の制限や一部のサービスの休止を実施しました。年度後半には段階的に制限の緩和を図りましたが、平常時の業務体制に戻すまでには至りませんでした。通常とは異なる業務体制が続いたために、当館のサービスを必要としている視覚障害者に、長期間ご不便をおかけしてしまいました。加えて幾つかの心配も生じており、中でも深刻なのが、事業収入の低迷です。当館の財政の約6割を占める視覚障害者用具の販売や点字資料製作などの事業の収入に、十分な回復が見られません。用具販売では、主要な取り扱い製品の多機能点字器やデイジー録音再生機の生産が、世界的な電子部品の供給不足で滞り、売り上げが更に落ち込みました。

このような厳しい状況の下、皆様からのご支援が普段に増して大きな助けとなっています。視覚障害者のための当館の事業に、コロナ禍の混乱の中でもお力添えくださった皆様には、感謝申し上げるばかりです。そのうえで誠に恐縮ですが、当館の事情をご理解いただき、引き続きのご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

会 長 田 中 徹二



4月から私は理事長を退き会長になりました。視覚障害者の立花明彦さんが大学教授を退任して、館長に来てくれたからです。これで、長岡新理事長と合わせて視覚障害者がトップを務める道を残すことができました。

創立者・本間一夫先生のあとを引き継いで31年間、当館を無事に運営してこられたことにほっとしています。それは、職員だけでなく大勢の皆様にご支援していただいたお陰です。点字図書・録音図書の製作や関係作業を手伝ってくださったボランティアの方々、財政面で支えてくださった寄付者の方々など、有形無形のたくさんのお力添えがありました。ご寄付くださった方々は、31年間で延べ30万人をはるかに超えています。その一部の方になりますが、今も毎日点字でお礼状をしたためております。

視覚障害者と当館に心を寄せてくださる多くの方々に支えられて私は幸せでした。皆様に深く感謝申し上げます。

館 長 立 花 明彦



当館の創立者・本間一夫は、点字図書館事業は職員・利用者・奉仕者を含む支援者が三位一体となつてこそ成り立つと言ひ、ここにこの事業の特徴があると語っています。中でも図書館への支援は、蔵書の製作や館内での作業、さらには財政面での寄付と多様であり、重要な位置を占めています。約700冊の点字図書で開館した当館が、日本で最大の視覚障害者のための図書館に発展し、事業を拡大して80年余りの歴史を刻むことができているのは、まさに本間が主張する三位一体ができていることの証と言えます。館長に就任して1カ月余りになりますが、図書館にいますと毎日、点訳者、朗読者、作業のお手伝いをしてくださる複数の方々に接すると同時にご寄付の報告を受け、改めてこの図書館が多くの皆様によって支えられていることに気づかされます。ここに改めて皆様の日頃のご支援にお礼申し上げますとともに、今後も引き続きご協力くださいますようお願い申し上げます。

2021年度事業のあらまし

2021年度は、前年度に引き続いて新型コロナウイルスの感染拡大でサービスの制限を余儀なくされ、多くの皆様に様々なご不便をおかけしました。加えて、通常とは異なる業務体制が長期間続いたことにより、サービス利用の減少や事業収入の低迷など、幾つかの不安が残りました。

そうした厳しい状況の中で、各事業は、サービスの維持と改善に努めました。図書貸出事業では、若い世代の利用の拡大を図るために、視覚障害者を対象とする三つの教育機関に職員が出向いて、読書に関する啓発授業を行いました。自立訓練事業では、受講者の受け入れ増を目指して1日の訓練コマ数を6月にそれまでの2から3に変更しました。

図書製作事業では、点訳、朗読、デイジー編集等を担ってくださっているボランティアの皆様を対象に、専門的な知識やスキルを習得する研修を、インターネットによる遠隔受講方式も取り入れて実施しました。また、点字触読校正担当のパート職員3人の新規採用や、アナウンス実務への職員2人の新たな投入などで、製作体制の強化を図りました。

利用サービス部がシステム管理を担う電子図書館サピエでは、3月に、コンテンツサーバの更新とそれに伴うシステム改修を行いました。約1ヶ月を要した作業はソフトウェア上の問題で難航する場面もありましたが、システム管理施設として複数の開発業者等の間の調整に当たり、予定の期日内にすべてを終了することができました。

総務部では、サービスやイベントについての情報を電子メールで個人向けに配信する「にってんニュースレター」を11月に開始しました。毎月1回の頻度で配信しているこのニュースレターの受信者として、年度末までに約400人の利用者等の皆様にご登録いただきました。

用具販売、文化資料、指定管理、海外支援などを含めたどの事業も、コロナ禍の影響で厳しい運営が続きました。この状況をご理解いただき、お力添えをくださった皆様に、ここに改めて深く感謝申し上げます。各事業の実績につきましては、次ページ以降をご参照ください。

2021 年度 事業の実績

図書情報サービス

利用登録者数：12,648 人

新規収蔵図書数：点字図書 661 タイトル、録音図書 760 タイトル

蔵書総数：点字図書 22,871 タイトル (83,922 冊)

録音図書 24,634 タイトル (52,081 巻)

貸出数：点字図書 5,876 タイトル (21,251 冊)、録音図書 92,194 タイトル

ダウンロード提供数：点字図書 763 タイトル、録音図書 95,044 タイトル

専門対面リーディングサービス利用実績：延べ 118 人、239 時間

レファレンス：視覚障害者図書情報提供 70,093 件

図書製作事業

製作数：点字図書 162 タイトル (685 冊)、音声デイジー図書 395 タイトル (2,986 時間) テキストデイジー図書 300 タイトル、マルチメディアデイジー図書 6 タイトル (11 時間)

月刊録音雑誌「にってんデイジーマガジン」を 69,113 枚配布

ボランティア数：点訳ボランティア 60 名、朗読ボランティア 45 名

デイジー編集ボランティア 12 名、テキストデイジー編集ボランティア 36 名

録音図書ネットワーク製作システム参加ボランティア 89 名

クラウドソーシング型図書校正参加ボランティア 557 名

視覚障害者用具の販売あつ旋

年間取扱点数：904 種、72,374 点

新規取扱商品：ユニバーサル二つ折り財布、ブレイルセンスシックス、デコペタシール、拡大読書器クローバー 6、携帯型拡大読書器ズームックススノー 12、アイリスオーヤマ音声付 2 口 IH コンロ、ミズノケーン ST GRUS ボイスタイマー、ユニバーサルタイマー

厚生労働省委託・補助事業

〔視覚障害者用図書事業〕

点字図書：30 タイトル (6,730 冊) 製作、延べ 360 タイトル (1,203 冊) 貸出

録音図書：音声デイジー図書 15 タイトル、マルチメディアデイジー図書 6 タイトル製作、延べ 642 タイトル貸出

〔盲人用具の販売あつ旋〕

盲人用具 17 種、17,267 点

〔サピエ図書館の運営（視覚障害者用図書情報等ネットワーク運営事業）〕

会員数：個人会員 19,256 人、施設・団体会員 437 団体

提供数：

- ・点字データ 242,646 タイトル
- ・音声デিজリーデータ 109,441 タイトル
- ・テキストデিজリーデータ 12,385 タイトル
- ・マルチメディアデিজリーデータ 394 タイトル
- ・目録 1,189,613 タイトル

利用数：

- ・点字データ 延べ 552,609 タイトル
- ・音声デিজリーデータ 延べ 3,958,381 タイトル
- ・テキストデিজリーデータ 延べ 286,377 タイトル
- ・マルチメディアデিজリーデータ 延べ 6,967 タイトル
- ・目録検索 3,176,443 件
- ・オンラインリクエスト 281,429 件

その他、全国の点字・公共図書館等に 70,093 件の情報を提供しました。

自立支援事業

相談支援：基本相談 329 件、計画相談 113 件

自立訓練（機能訓練）：実人数 72 人、延べ回数 1,973 回

医療機関に出向いての相談会：5 回

東京都委託事業

〔点字図書の製作・貸出〕

・点字図書：47 タイトル（324 冊）製作、延べ 249 タイトル（926 冊）貸出

〔声の図書の製作・貸出〕

・声の図書：67 タイトル（335 枚）製作、延べ 3,337 タイトル（3,346 枚）貸出

〔視覚障害者用図書レファレンスサービス〕

・都内の視覚障害者、施設団体に対し 35,416 件の情報提供

〔希望図書の製作〕

・個人の希望する点字図書：72 人・117 件、声の図書：78 人・151 件

海外支援事業

池田輝子基金により、マレーシアを拠点に第 17 回池田輝子 ICT 奨学金事業をオンラインで実施しました。延べ 19 名参加

本部事業

〔ふれる博物館〕

・第 7 回企画展「創立 80 周年記念企画 日本点字図書館の歴史にふれる」

(協力 株式会社昭和書体)

2020年12月2日(水)～2021年4月17日(土)(当年度8日間)、来場者数:
当年度16人

・第8回企画展「タッチ The スポーツ！」

(協力 公益財団法人鉄道弘済会、公益財団法人東京都障害者スポーツ協会、
一般社団法人日本ゴールボール協会、一般社団法人日本パラ水泳連盟、一般
社団法人日本パラ陸上連盟、特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協
会、特定非営利活動法人日本ブラインドマラソン協会、南谷和範(大学入試
センター)、渡辺哲也(新潟大学))

2021年6月23日(水)～9月25日(土)(38日間)、来場者数:168人

・第9回企画展「そうだ 奈良・京都をさわろう」

(協力 桜井記念視覚障がい者のための手でみる博物館、株式会社昭和書体)

2021年11月10日(水)～2022年3月12日(土)(48日間)、来場者数:
223人

[視覚障害者関係墨字資料(奥村文庫)]

新規収蔵 907点、利用 397件、複写サービス 127枚

チャリティ公演

[チャリティ映画会]

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

[チャリティコンサート]

第19回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート「澤 亜樹 ヴァイオ
リンリサイタル」

2022年1月16日(日) 東京文化会館小ホール 来場者 300名

川崎市視覚障害者情報文化センター(設置:川崎市/指定管理事業者:日本点字図書館)

- ・利用登録者数:507名、297団体
- ・蔵書数:点字図書3,457タイトル(12,308冊)、録音図書6,436タイトル
- ・貸出数:点字図書308タイトル、録音図書9,022タイトル
- ・ダウンロード提供数:録音図書4,025タイトル
- ・図書製作:点字図書47タイトル、音声デージー図書92タイトル、テキストデージー
図書1タイトル、シネマ・デージー/音声ガイド21タイトル
- ・訓練事業:訓練者実数47名、延べ363回
- ・用具の展示と販売紹介:展示点数372点、販売紹介点数1,372点
- ・イベントの開催:読書会、落語会、音声ガイド付き映画体験上映会、コンサート、セ
ンターまつり、訓練生屋外交流会ヨガ教室 他

「ふれる博物館」スポーツ関連の企画展を開催

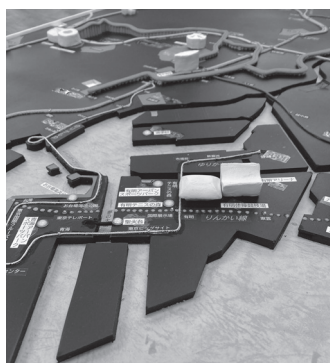
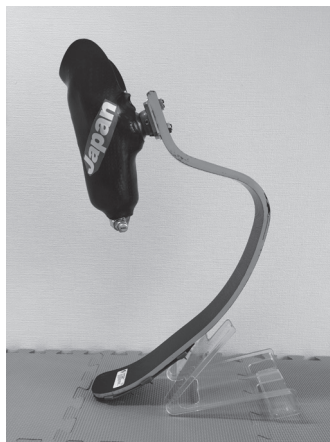
当館附属施設池田輝子記念ふれる博物館では、昨夏、開催された東京 2020 オリンピック・パラリンピックにちなむ企画展「タッチ The スポーツ！」を開きました。

東京 2020 オリンピック聖火リレートーチに始まり、ボッチャ、視覚障害者水泳で使用するタッピング棒、リオパラリンピックで実際に使用された陸上競技用義足、ブラインドマラソンでランナーと伴走者とを結ぶテザー、競技用車いす、ブラインドサッカー用ボール、ゴールボール、ソウルパラリンピックでの金メダルなど、実際に使用する、あるいは使用した現物に触れていただき、来館者には感触、重さ、反発力などを体験していただきました。

また、新国立競技場の 3D 模型や、パラリンピックマラソンコース・競技大会会場の位置などを記した触地図を展示し、理解の一助としました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、こまめな消毒、換気、マスクの着用のほか、密にならないよう一日 3 回の少人数での予約制をとっております。

開催にあたっては東京 2020 組織委員会、東京都障害者スポーツ協会、鉄道弘済会、その他各競技団体より格別のご協力をいただきました。謹んで御礼申し上げます。



◆◆ ご寄付へのお礼とご報告 ◆◆

2021 年度は、皆様から以下の通りご厚志を賜りました。

総件数 8,035 件 (前年度 8,448 件)
総額 238,812,767 円 (前年度 139,034,723 円)

その内訳をご報告いたします。

3,000 円未満	559 件	10 万円以上 50 万円未満	139 件
3,000 円以上 5,000 円未満	2,581 件	50 万円以上 100 万円未満	3 件
5,000 円以上 1 万円未満	2,140 件	100 万円以上	22 件
1 万円以上 10 万円未満	2,591 件	合計	8,035 件

2021 年度も、篤志ある皆様のご協力により、多額のご寄付を頂戴いたしました。心より感謝申し上げます。

ご厚志をお寄せくださいました皆様、本当にありがとうございました。

このうち、11 件はご遺贈として頂戴いたしました。謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

◆◆ 募金箱設置にご協力いただいた企業・団体 ◆◆

募金箱設置にご協力いただきました企業・団体のお名前です。23 団体の皆様から、合計 421,119 円のご協力を頂戴いたしました。

団 体 名 (五十音順)	
朝日信用金庫	ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留
医療法人社団雄飛会 平岡眼科医院	自家焙煎 珈琲舎ロッセ
医療法人湘山会 眼科三宅病院	正派邦楽会
イル クッキアイオ ディ アンジェロ	ツム・アインホルン
植松医院	ハイアットリージェンシー東京
オリンピア眼科病院	林歯科医院
柿島屋	文右衛門そば
カモシカスポーツ	文流
カラオケ館高田馬場店	髪シヨップ・シャルマン
カラオケ館高田馬場店 2 号店	吉川眼科クリニック
キリンシティ高田馬場店	和創さくらの庭
国稀酒造株式会社	

◆◆ 愛の CD・DVD・ポストカード運動へのご支援 ◆◆

当館では、書き損じはがきや未使用のはがき、ご不要になった市販の音楽 CD や DVD をご寄贈いただいております。はがきは郵便局で切手に交換して日常業務に不可欠な通信費の一部に、CD・DVD は中古店に買い取っていただき売り上げを運営資金に、それぞれ充当させていただいております。

2021 年度は 124 人・6 団体様からご寄贈いただき、書き損じはがきから切手への引き換え金額は 384,384 円、CD・DVD の買取金額は 26,323 円になりました。

◆◆ ご寄付いただいた主な企業・団体 ◆◆

当館にご寄付いただきました主な企業・団体のお名前です。528 団体の皆様から、合計 11,920,739 円のご協力を頂戴しました。紙面の都合上、ご協力いただきました企業・団体すべてを掲載できず、申し訳ございません。全団体は、当館ホームページにてご覧いただけます。

団 体 名 (五十音順)	
ALLIANCE GATE 株式会社	地福寺
イオンクレジットサービス株式会社	宗教法人真福寺
一般財団法人報国積善会	真宗大谷派開明寺
一般社団法人全国銀行協会	全国友の会
一般社団法人全国信用組合中央協会	浅草寺
医療法人社団雄飛会平岡眼科医院	社会福祉法人中日新聞社会事業団東京支部
N T T 東京福祉文化事業団「ゆいの会」	つながる募金
神奈川県眼科医会	東京 I ゾンタクラブ
株式会社エルエッチエス	ニシフミート株式会社
株式会社偕成社	P F U 労働組合
株式会社清和産業	三菱商事株式会社
株式会社高島屋友の会	柳川特許事務所
株式会社 TAKARA & COMPANY	有限会社 F o r Y o u
株式会社日本財託	有限会社菱和興産
株式会社日立ビルシステム	リネットジャパングループ株式会社
観音寺	朗読ボランティア「樫の実会」
株式会社サン・データセンター	

◆◆ 企業・団体のボランティアのご協力 ◆◆

CSR の一環として、次の企業の社員の皆様には、休憩時間を利用したボランティア活動で、用具事業課で使用する点字シールや、再生紙を利用した封筒作製にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

東京海上日動安心 110 番株式会社、東京海上日動調査サービス株式会社、三菱鉱石輸送株式会社、三菱商事株式会社、三菱食品株式会社

◆◆ ワンブック・プレゼント運動へのご支援 ◆◆

多くの企業・団体と個人の皆様からワンブック・プレゼント運動にご支援いただきました。この運動は、一口10万円単位のご寄付を点字図書・録音図書の製作費用に充てさせていただくものです。完成した図書には、ご寄付くださった企業・団体・個人の方のお名前やメッセージなどを表示して、利用される読者の方に皆様のご支援の一端をお伝えいたします。

点 字 図 書		録 音 図 書	
協力者	口数	協力者	口数
株式会社イオン銀行	13	株式会社イオン銀行	18
林 紀子	5	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5
共同印刷株式会社	3	イオンマーケティング株式会社	5
白石英治・白石三枝	2	林 紀子	5
村田 充	2	鈴木正・鈴木八重子	3
株式会社サンセイランディック	1	ハウス食品労働組合	3
下奥重望	1	はんだこどもクリニック	3
点訳きつつき	1	大竹玉枝	2
古川京一	1	加藤政子	2
匿名	1	株式会社日立ビルシステム	2
		下野恵子	2
		白石英治・白石三枝	2
		松井まり子	2
		匿名	2
		株式会社サンセイランディック	1
		株式会社ニデック	1
		田中陽一	1
		吉田敏行	1
		匿名	1
		匿名	1
点字図書 合計 10 件	30 口	録音図書 合計 20 件	62 口
点字図書、録音図書 総計 92 口			

◆◆ 消毒薬等のご支援 ◆◆

東亜ディーケーケー株式会社、花王株式会社、社会福祉法人新宿区社会福祉協議会から、消毒薬等を頂戴いたしました。

新型コロナウイルス感染予防対策等に活用させていただきました。皆様のご支援に心より御礼申し上げます。

❖❖ 企業や団体からのご助成 ❖❖

企業・団体名	金額 (円)	助 成 内 容
社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団	100,000	第5回全国視覚障害者囲碁大会開催費
イオンリテール株式会社	40,700	「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」による助成
株式会社岩波書店	240,000	岩波新書等の録音版の製作・貸出
社会福祉法人NHK 厚生文化事業団	100,000	第5回全国視覚障害者囲碁大会開催費
一般財団法人NHK サービスセンター	2,000,000	点字版「NHK ウィークリーガイド」の製作・頒布
教職員共済生活協同組合	2,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
公益信託久保記念点字図書援助基金	355,300	IT 教室と図書出納業務のための物品購入費
公益財団法人 J K A	2,421,000	月刊録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」の製作・配布（障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業）
全国生活協同組合連合会	3,500,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
全国労働者共済生活協同組合連合会	1,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出（視覚障害者の情報収集支援事業）
全国ラジオチャリティミュージックソン実行委員会	1,000,000	録音図書のデイジー編集作業費
公益財団法人鉄道弘済会	1,800,000	録音雑誌「ブックウェーブ」の製作・配布
社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団	100,000	チャリティコンサート開催費
一般財団法人日本宝くじ協会	2,500,000	点字図書と録音図書の製作・貸出
公益財団法人原田積善会	400,000	点字・録音資料のコピーサービスのための複製機購入費
公益財団法人一ツ橋総合財団	5,000,000	録音図書「一ツ橋文庫」の製作・貸出
		マルチメディアデイジー教材製作システム (ChattyInfty Online) の整備
		テキストデイジー図書の製作・提供
株式会社文藝春秋	960,000	録音雑誌「文藝春秋」の製作・配布
公益財団法人毎日新聞東京社会事業団	100,000	第5回全国視覚障害者囲碁大会開催費
社会福祉法人読売光と愛の事業団	700,000	専門対面リーディングサービス事業
		ロービジョンサービス事業
		視覚障害者就労支援のための機器購入費

◆◆ チケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前 ◆◆

当館が主催したチャリティコンサートのチケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前です。10 団体の皆様から、合計 264,000 円のご協力を頂戴しました。団体名は、当館ホームページにてご覧いただけます。

団 体 名 (五十音順)	
株式会社 Hello News	公益財団法人社会福祉振興・試験センター
大橋洋紙店	株式会社西武洋紙店
株式会社偕成社	一般財団法人日本児童教育振興財団
一般財団法人高度映像情報センター	公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団
株式会社サン・データセンター	フジケミ株式会社

◆◆ イベント協賛・広告掲載をいただいた企業 ◆◆

当館が主催したチャリティコンサートへの協賛、また当館発行機関紙「にってんフォーラム」に広告掲載のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

イオンクレジットサービス株式会社、株式会社イオン銀行、國稀酒造株式会社、シナノケンシ株式会社、三菱電機株式会社

◆◆ 池田輝子基金事業のご報告 ◆◆

高田馬場の篤志家・池田輝子氏より寄贈されたマンション 2 棟の家賃収入をもとに、録音図書を製作する池田文庫事業と視覚障害者が触察に適したアレンジを施した絵画や建築、また近現代の盲人生活用具などを触って楽しめるふれる博物館事業、アジアの若い視覚障害者の自立支援のためのパソコン技術を指導する池田輝子 ICT 奨学金事業を実施しました。

1. 池田輝子記念文庫製作事業

スタジオ録音及びデジター編集により、50 タイトルの録音図書を製作しました。

2. ふれる博物館事業

次の 3 つの企画展を開催しました。

- ・創立 80 周年記念企画 日本点字図書館の歴史にふれる
- ・タッチ The スポーツ！
- ・そうだ 奈良・京都をさわろう

3. 池田輝子 ICT 奨学金事業

2021 年度もコロナウィルスの影響により、奨学生を集めての開催は出来ないため、ZOOM を活用してオンライン講習を実施しました。

決算のあらまし

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日

単位 (円)

事業活動による収支 (収入)	
障害福祉サービス事業収入	25,188,593
点字図書館事業収入	577,896,950
盲人用具販売事業収入	335,044,208
マンション経営事業収入	37,666,324
本部事業収入	2,044,000
経常経費寄附金収入	248,770,257
受取利息配当金収入	2,925,254
その他の収入	9,451,515
事業活動収入計 (1)	1,238,987,101
事業活動による収支 (支出)	
人件費支出 (法人負担分)	328,735,152
委託・補助金事業人件費支出	229,091,645
事業費支出	354,420,538
事務費支出	132,713,124
支払利息支出	423,230
その他の支出	226,467
事業活動支出計 (2)	1,045,610,156
事業活動資金収支差額 (3=1-2)	193,376,945
施設整備等による収支 (収入)	
施設整備等補助金収入	18,489,350
設備資金借入金収入	46,280,000
施設整備等収入計 (4)	64,769,350
施設整備等による収支 (支出)	
設備資金借入金元金償還支出	6,155,353
固定資産取得支出	71,625,221
ファイナンス・リース債務の返済支出	5,075,088
施設整備等支出計 (5)	82,855,662
施設整備等資金収支差額 (6=4-5)	△ 18,086,312
その他の活動による収支 (収入)	
積立資産取崩収入	355,000,201
その他の活動による収入	417,000
その他の活動収入計 (7)	355,417,201
その他の活動による収支 (支出)	
積立資産支出	514,600,001
その他の活動による支出	2,300,080
その他の活動支出計 (8)	516,900,081
その他の活動資金収支差額 (9=7-8)	△ 161,482,880
当期資金収支差額合計 (10=3+6+9)	13,807,753
前期末支払資金残高 (11)	103,699,310
当期末支払資金残高 (10+11)	117,507,063

日本点字図書館のあゆみ

1940（昭和15）年	全盲の青年 本間一夫が日本盲人図書館（現在の社会福祉法人日本点字図書館）を創立 蔵書700冊
1945（昭和20）年	戦災により本館焼失 貸出は疎開先で継続
1948（昭和23）年	焼け跡に仮建築で再出発 日本点字図書館に改称
1952（昭和27）年	社会福祉法人となる
1953（昭和28）年	本間一夫が朝日社会奉仕賞受賞
1954（昭和29）年	厚生省から点字図書製作事業の委託を受ける
1958（昭和33）年	声のライブラリー発足 テープ50巻、レコード1台
1960（昭和35）年	「中途失明者のための点字教室」を開始
1966（昭和41）年	視覚障害者用生活用具の開発と普及事業を開始
1976（昭和51）年	声の図書の「カセットテープ化」を開始
1989（平成元）年	厚生大臣特別表彰（身体障害者福祉功労団体）を受賞
1991（平成3）年	パソコン点訳者養成事業開始
1994（平成6）年	アジア盲人図書館協力事業開始
1996（平成8）年	専門対面リーディングサービス開始
1998（平成10）年	国費による新別館完成 皇后陛下ご臨席のもと新館披露の式典開催
1999（平成11）年	デジタル録音図書（CD図書）の製作・貸出開始
2003（平成15）年	本間一夫と日本点字図書館が、第10回井上靖文化賞を受賞 ロービジョンサポート事業開始 創立者本間一夫他界（享年87歳）
2004（平成16）年	録音図書ネットワーク配信サービス「びぶりおネット」開始
2005（平成17）年	ユニバーサルデザイン推進室（UDラボ）設置 録音図書ネットワーク製作システム（びぶりお工房）開始
2007（平成19）年	アジア太平洋障害者の10年の中間年記念 内閣総理大臣表彰受賞
2008（平成20）年	チャリティコンサートに皇后陛下のご臨席を賜る
2009（平成21）年	CD雑誌「にってんデイジーマガジン」創刊
2010（平成22）年	視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」開始 「日点みんなの集い」に皇后陛下のご臨席を賜る
2011（平成23）年	カセットテープによる録音図書サービスを終了
2014（平成26）年	川崎市視覚障害者情報文化センターの管理運営開始
2015（平成27）年	塙保己一賞貢献賞受賞
2017（平成29）年	指定特定相談支援事業および自立訓練（機能訓練）事業を開始
2018（平成30）年	日本点字図書館附属池田輝子記念ふれる博物館開設
2020（令和2）年	著作権法における図書館資料の複製が認められる施設に指定される

役 員

理 事 長	長岡 英司	
常務理事	立花 明彦	館長
同	伊藤 宣真	本部長
理 事	浅川智恵子	日本科学未来館館長
同	芦田 真吾	東京都医師国民健康保険組合事務局長
同	岡本 厚	前(株)岩波書店代表取締役社長
同	河 幹夫	(社福)日本心身障害児協会理事長
同	田中 敏雄	(社福)東京都福祉事業協会理事長
同	花島 弘	前(公財)ダスキン愛の輪基金評議員
同	三田 誠広	作家・(公社)日本文藝家協会副理事長
監 事	野田 聖子	弁護士
同	君島 淳二	(公財)日本障害者リハビリテーション協会常務理事

評 議 員

石橋 迪子	大胡田 誠	加藤真由美	樽松 武男
小林 裕明	迫田 朋子	高橋 秀治	富田 清邦
福島 智	星川 安之	本間 一明	増渕 路子
渡邊 岳	和波 孝禧		

後援会長 阿刀田 高 (作家)

(敬称は省略させていただきました)



社会福祉法人 日本点字図書館

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4

電話 (03) 3209 - 0241 (代 表) FAX (03) 3204 - 5641

ホームページ <https://www.nittento.or.jp/> Eメール nitten@nittento.or.jp

ゆうちょ銀行振替口座 一 般：00160 - 2 - 100288

取引銀行及び普通預金口座番号

みずほ銀行	高田馬場支店	普通 2855735
三井住友銀行	高田馬場支店	普通 92380
三菱UFJ 銀行	高田馬場駅前支店	普通 167456



口座名：社会福祉法人 日本点字図書館 フリガナ：フク) ニッポンテンジトショカン